

Forest 滋賀中央

森林組合だより

も

り

めぐ

森林の恵み

森林面積
出資金
組合員数42,234ha
138,658千円
6,338人

施業前

施業後



施業の集約化・利益還元に取り組んでいます。

管内には、手入れが行き届いていない森林がまだまだ多くあります。このような森林を効率的に整備を行うため、間伐区域をまとめ集約化に取り組んでいます。

集約化することでコストダウンを図ることができ、間伐材の売り上げが増え、補助金を活用することで所有者に負担をかけることなく間伐搬出を実施し、利益還元できるように取り組んでいます。

第4回通常総代会を開催しました。



議長 山田喜一郎氏



来賓

去る8月26日（土）午前9時30分より水口町水口の「甲賀市碧水ホール」において、第4回通常総代会を開催しました。当日は、本人出席93名、書面出席75名合わせて168名（現在総代数200名、出席率84.0%）の総代さんの出席がありました。

来賓には、管内選出の県議会議員、甲賀市副市長、日野町副町長、湖南市建設経済部産業振興戦略局次長、中部森林整備事務所次長、甲賀森林整備事務所長、滋賀県森林組合連合会理事・参事のご臨席を賜りました。

また、滋賀県議会議員を代表して井阪尚司氏、管内市

町を代表して甲賀市正木仙治郎副市長よりそれぞれご祝辞を賜りました。

議長には、水口町の山田喜一郎氏が就任され、スムーズな議事進行により、提出議案全12議案と付帯決議を原案とおり可決承認いただきました。

なかでも、第11号議案の役員任期満了による役員選任については、役員選任規程による賛否投票を行い、投票総数91票、賛成86票、反対4票、無効1票により書面議決の賛成者73名との合計賛成者159名により推薦会義において推薦されました役員候補者は選任されました。

平成28年度決算につきましては、事業総収益が794,304千円（対計画比105%）、税引前当期利益25,770千円（対計画比199%）といずれも計画額以上を達成することが出来ました。

このことは、組合員各位のご理解とご協力、関係先、関係行政機関のご支援の賜と深く感謝申し上げます。

提 出 議 案

- 第1号議案** 平成28年度事業報告書、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案並びに注記表及び附属明細書の承認について
- 第2号議案** 平成29年度（H29.6.1～H30.5.31）事業計画書の設定について
- 第3号議案** 定款の一部変更について
- 第4号議案** 森林経営規程の制定について
- 第5号議案** 平成29年度に於ける借入金最高限度額の決定について
- | | |
|--------------|-------------|
| 組合運営資金 | 金 300,000千円 |
| 特別の法律に基づく借入金 | |
| 農林漁業資金 | 金 150,000千円 |
| 農林中央金庫資金 | 金 50,000千円 |
- 第6号議案** 平成29年度に於ける余裕金預け入れ先の決定について
- 農林中央金庫、滋賀銀行、関西アーバン銀行、ゆうちょ銀行、甲賀農業協同組合、グリーン近江農業協同組合、滋賀県信用組合、湖東信用金庫
- 第7号議案** 平成29年度事務取扱手数料の決定について
- (1) 造林補助金事務取扱手数料・・・交付補助金額の10%以内
- (2) 受託造林事業手数料・・・事業費（労務費+資材費）の3%以内
- (3) 受託林産事業手数料・・・売上金額の3%以内
- 第8号議案** 林道事業に係る賦課金徴収方法並びに徴収時期の決定について
- 森林組合が施行する林道事業賦課金徴収時期は着工より工事完了時までとし、受益者総会に於いて決定された賦課率により徴収し、方法は理事会に一任する。
- 第9号議案** 林道事業による分担金の徴収承認について
- 森林組合が施行する林道事業に伴う受益者のうち組合員外（県営林、造林公社等）には分担金を徴収する。その時期、方法については着工より工事完了時迄として、当該規定による分担率とし、方法は理事会に一任する。
- 第10号議案** 平成29年度中における役員報酬の限度額の決定について
- 理事報酬は金14,000千円以内とし、各理事ごとの額は理事会に一任する。
- 監事報酬は金 500千円以内とし、各監事ごとの額は監事の協議とする。
- 第11号議案** 役員任期満了による役員選任について
- 理事22名 監事3名
- 第12号議案** 退任役員に対する退任慰労金の支出について
- 役員退任給与規程に基づき支給する。
- 附帯決議** 本総代会の決議に反せざる限り、軽微な事項の修正並びに誤字の訂正及び行政庁の指示による字句の修正については理事会に一任する。



平成28年度決算報告

I 貸借対照表 (平成29年5月31日現在)

(単位：千円)

科 目	内 訳	小 計	合 計
(資 産)			
流動資産			
現金・預金		558,591	
受取手形	15,089		
貸倒引当金	△ 101	14,988	
売掛金・未収金	101,436		
貸倒引当金	△ 7,414	94,022	
棚卸資産		40,082	
受託造林立替金等		137,841	
その他		11,422	
流動負債計			856,946
固定資産			
有形固定資産		104,627	
無形固定資産		9,912	
外部出資金		36,928	
保険積立金		41,416	
農林漁業資金貸付金	2,200		
貸倒引当金	△ 14	2,186	
その他の固定資産		519	
固定資産計			195,588
資産合計			1,052,534

科 目	内 訳	小 計	合 計
(負 債)			
流動負債			
買掛金		11,687	
短期借入金		111,000	
未払金		69,081	
預り金		68,614	
その他負債		9,234	
流動負債計			269,616
固定負債			
農林漁業資金借入金		2,200	
退職給付引当金		154,907	
固定負債計			157,107
負債 合計			426,723
(純資産)			
出資金		138,658	
資本準備金		910	
法定準備金		147,065	
任意積立金		303,270	
当期末処分剰余金		35,909	
純資産合計			625,812
負債・純資産合計			1,052,534

注) 千円未満を四捨五入しています。

II 損益計算書 (平成28年6月1日～平成29年5月31日) (単位：千円)

科 目	小 計	合 計
I 事業総損益		
1. 収 益	794,304	
2. 費 用	606,580	
事業総利益		187,724
II 事業管理費		
1. 人 件 費	130,993	
2. 旅費交通費	1,155	
3. 事 務 費	4,824	
4. 業 務 費	5,540	
5. 諸税負担金	5,686	
6. 施 設 費	21,611	
7. 雑 費	144	
事業管理費計		169,953
事業利益		17,771
III 経常損益		
1. 事業外収益	9,423	
2. 事業外費用	893	
事業外損益		8,530
経常利益		26,301
IV 特別損益		
1. 特別利益	286	
2. 特別損失	817	
特別損失		△ 531
V 利益剰余金		
税引前当期剰余金		25,770
法人税、住民税、事業税		8,130
当期剰余金		17,640
前期繰越剰余金		18,269
目的積立金取崩額		57
当期末処分剰余金		35,966

注) 事業外収益にLLPの分配収入を含んでいます。

III 部門別損益計算書 (単位：千円)

部 門	費 用	収 益	利 益
指導部門	2,774	3,593	819
販売			
販 売	96,110	112,886	16,776
建 設 等	26,383	43,001	16,618
林 産	83,622	123,356	39,734
加工部門	96,591	123,286	26,695
森林整備			
森 林 整 備	154,851	203,380	48,529
利 用	114,698	146,385	31,688
購 買	31,430	38,302	6,872
金 融	121	114	△ 7
合 計	606,580	794,304	187,724

IV 剰余金処分案 (単位：千円)

区 分	積算内訳	処 分 額	合 計
I 当期末処分剰余金			35,966
II 剰余金処分額			
1. 法定準備金	剰余金の1/5以上	4,000	
2. 任意積立金			
損失補填積立金		2,000	
役員退職積立金		1,512	
組合施設等修繕積立金		6,000	
III 次期繰越剰余金			22,454

注) 千円未満を四捨五入しています。

平成29年度 事業計画書

運営の基本方針

区分	説 明
総括	(1) 組合の力で安心して活力ある健全な森林づくりをすすめます。 (2) 施業の集約化、機械化により生産コストを低減し、搬出間伐材の売上利益を還元します。このことにより、森林所有者の山林経営意識の向上が図られるよう努力します。 (3) 流通体制の効率化により、地域材の需要拡大を図ります。 また、森林組合経営面においては、森林組合役職員の意識改革（コンプライアンスの遵守、組合員へのサービス意識、コスト意識、営業意識）に全力で取り組み健全経営を図っていきます。
指導部門	林業推進員さんの協力と県・市・町との連携の中で、森林整備や提案型集約化事業の推進を図り、木材売上代金の山主還元に努めていきます。 このために、「認定施業プランナー」からの森林所有者への提案等の活動強化を図ります。 また、広報紙やホームページ等により、幅広く情報提供を図ります。
販売部門	(販売事業) 国産材製品を中心とした製品販売の積極的拡販に努めていきます。 (工作物事業) 製品開発と施工技術の研鑽に努め、営業活動により、びわ湖材利用製品の建築及び拡販を図っていきます。 (林産事業) 木材生産の生産性の向上を図り、綿密な「木材仕分け」による木材流通センターの集約販売を中心に間伐搬出材の有利販売に努めていきます。
加工部門	林産事業と加工事業との一貫体制により、製材加工用原木丸太に搬出間伐材利用50%以上を目標に、びわ湖材認定製材工場として、住宅構造材、下地材、内装材及び工作物材料等の安定販売に努めていきます。 また、木材乾燥施設、四面カンナ加工施設、丸棒加工施設及び防虫防蟻施設のフル活用による木材加工と品質向上を強化していきます。
森林整備部門	(森林整備事業・利用事業) 施業集約化のための境界明確化事業や森林調査を進め、搬出間伐面積200ha以上、木材搬出材積10,000 m³を目標とし、山主への利益還元に努めていきます。各種請負事業の積極的な受注を図り、利益確保に努めていきます。また、木材生産における生産性の向上と安全性を確保するための研修会を随時開催し、技術作業班の技能向上を図ります。 (購買事業) 森林組合の利用客の減少のなかで、獣害対策資材等組合員要望に応じた資材提供や、管内各地での「無料整備点検会」を開催し、拡販に取り組むとともに、利用客に満足していただけるアフターサービスに努めていきます。
木材流通センター(LLP)	木材流通センター（LLP）の運営にあたっては、県内森林組合と木材流通センターが原木供給情報をリアルタイムで把握し、最も有利な販売先に出荷するため、県内森林組合間の通信ネットワークの活用により木材流通センターが県産材安定供給の基地機能の役割をさらに発揮できるように努めます。

平成29年度 損益計画書

I. 部門別損益計画

(単位：千円)

部 門	費 用	収 益	利 益
指導部門	2,788	4,800	2,012
販売	販 売	65,020	83,450
	建 設 等	26,700	45,000
	林 産	92,508	134,400
加工部門	72,400	100,000	27,600
森林整備	森林整備	158,806	199,216
	利 用	121,957	147,263
	購 買	29,970	35,500
	金 融	79	90
合 計	570,228	749,719	179,491

II. 損益計画書 (H29.6.1～H30.5.31)

事業総収益	179,491千円
事業管理費	169,679千円
経常利益	14,900千円
特別損益	0千円
税引前当期利益	14,900千円

注) LLPの分配収入を含んでいます。

組合長あいさつ

去る8月26日第4回通常総代会が開催され、任期満了による役員改選において理事に選任され、その後の理事会において新たに代表理事組合長を仰せつかりました。

滋賀中央森林組合は平成25年12月に発足してから5期目を迎えることになりましたが、森林、林業を取り巻く環境は依然として大変厳しい状況にあり、その責任の重大さを痛感しております。

今、森林は人工林資源の約5割が50年生以上に達し、本格的な利用期を迎えていますが木材需要は7割を輸入材が占め住宅着工数も減少傾向の中、依然低迷しております。

一方、森林所有者の山離れが進み、放置された森林が増え、荒廃化が進んでいます。このような中ではありますが、平成28年度当森林組合は、森林所有者を取りまとめ森林の境界の明確化を図り、森林施業プランナーによる施業の集約化に努め、機械化等によるコスト低減を図った結果、計画以上の成績を収めることができました。

また、昨年9月に当森林組合が中心となって、他3森林組合（滋賀北部森林組合、びわこ東部森林組合、東近江市永源寺森林組合）とで構成する「滋賀県木材流通センター有限責任事業組合（LLP）」を発足させ、初年度の間伐材集約販売量は計画協定量を達成し成果を上げることができました。

木材需要が低迷している中ではありますが、公共建築物への木材利用やバイオマス燃料、CLT（直交集成板）等、新たな利用分野が広がりがつつあります。

組合の経営基盤の強化と役職員の意識改革を図り、組合員各位の期待に応えられる組合経営に努めてまいりますので、尚一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



滋賀中央森林組合
代表理事組合長

篠村 久嗣

新執行体制

第4回通常総代会において新役員が選任され、総代会終了後の第2回理事会において新執行役員が決まりました。なお、任期は平成32年の通常総代会終了時までとなります。

【新執行役員】

代表理事組合長（非常勤）	篠村 久嗣（日野町）
代表理事専務（常勤）	南 清（土山町）
代表理事常務（常勤）	奥嶋 健次（信楽町）

【新役員】

筆頭理事	松井 正（信楽町）	理事	村井 榮一（甲南町）
理事	杉村 克一（日野町）	理事	松原 栄樹（湖南市）
理事	堂城川 石一（水口町）	理事	吉川 哲（湖南市）
理事	筒井 和夫（土山町）	理事	杉本 勇喜一（信楽町）
理事	平井 壽一（土山町）	理事	松本 勝（甲南町）
理事	家森 茂樹（甲賀町）	理事	横山 増雄（日野町）
理事	嶋岡 實（甲賀町）	理事	関谷 武治（信楽町）
理事	嶋田 恒夫（甲賀町）	理事	堀 学巳（土山町）
理事	中嶋 武嗣（水口町）	代表監事	吉村 忠博（土山町）
理事	平田 英尋（信楽町）	監事	木瀬 正（日野町）
理事	安田 佐登志（信楽町）	監事	辻 正豊（信楽町）

新総代（定数200名）の方々が決まりました。

総代選挙にて選任された総代の方々は次のとおりです。

任期は平成29年6月1日から平成32年5月31日までの3年間です。よろしくお願いいたします。

湖南市石部西	山本 正隆	土山町南土山	綾戸 勝	甲南町深川	渡辺 智	信楽町小川	杉本 龍弥
// 石部中央	服部 仁	// 北土山	谷 岩治郎	// 池田	山崎 定光	// 小川出	山本 泰彦
// 石部東	青木儀一郎	// 南土山	大原 良重	// 磯尾	木村 宗雄	// 上朝宮	山本 重和
// 西寺	山本 康一	// 北土山	立岡 英彦	// 竜法師	森川 憲一	// 上朝宮	洞 章
// 西寺	山川 修	// 北土山	松山 嘉雄	// 野田	森田 長喜	// 上朝宮	辻本 公一
// 東寺	北村 稔	// 南土山甲	松井 俊樹	// 杉谷	神山 忠義	// 上朝宮	北田與志照
// 三雲	奥村 和彦	// 平子	玉井 悦治	// 杉谷	高橋 美幸	// 下朝宮	小倉 繁昌
// 三雲	井上弥寿雄	// 瀬ノ音	富田 吉広	// 杉谷	望月 政嗣	// 下朝宮	村井 克年
// 柑子袋	立入 勘一	// 瀬ノ音	堀 保蔵	// 新治	福永 甚藏	// 宮尻	和田 龍夫
// 針	熊谷 敏雄	// 青土	加藤 弘明	// 柑子	岡崎 治雄	// 宮尻	片木 昭彦
// 正福寺	望月 豊	// 野上野	土山 保夫	// 野川	増田 晋一	// 宮尻	片木 明
// 菩提寺	廣嶋修一郎	// 大沢	藤本 弘幸	// 下馬杉	西本 惠一	// 多羅尾	高杭 一弘
水口町虫生野	小森 伸一	// 頓宮	東 達也	// 上馬杉	鳥居 康一	// 多羅尾	山本 良太
// 宇川	山中 稔	// 前野	安井 健人	信楽町宮町	城多 和夫	// 多羅尾	岩永 将
// 高山	米田 博	// 市場	吉田新太郎	// 宮町	黄瀬 平安	// 多羅尾	田中 厚治
// 三大寺	谷村 和雄	// 徳原	中村 正和	// 宮町	黄瀬 武彦	// 多羅尾	久保田睦雄
// 牛飼	池村 満	// 大野	中村 正昭	// 宮町	谷口 善三	// 多羅尾	岩田 孝之
// 杣中	黄瀬 治男	// 大野	徳田 篤史	// 宮町	中川 秀志	// 多羅尾	市村 輝久
// 山上	奥村 武	甲賀町櫟野	嶋岡 市雄	// 宮町	加藤 銀次	// 多羅尾	北尾 憲一
// 八田	宮治 長一	// 神	中本 道雄	// 黄瀬	安田 利之	// 多羅尾	久保 和正
// 春日	丸山 一樹	// 神	竹中島眞博	// 黄瀬	葛江 英二	// 多羅尾	柿本 徳彦
// 下山	林田 清光	// 神	野口喜久雄	// 黄瀬	中島 茂之	日野町寺尻	竹村 繁
// 伴中山	吉田恒太郎	// 大原上田	林口 義久	// 黄瀬	大西 安雄	// 村井	満島 順猷
// 山	池本 清和	// 大久保	中島 芳幸	// 黄瀬	大西 政一	// 松尾	清水 昇二
// 山	中尾 哲	// 大原中	村田 武三	// 牧	竹永 豊	// 原	中西 浩司
// 宇田	山田喜一郎	// 鳥居野	中村 典也	// 牧	横山 正人	// 川原	蔵島彦五郎
// 名坂	池本 豊司	// 相模	玉木 友一	// 牧	岸上 幸平	// 杉	武田 育造
// 松尾	谷 龍平	// 大原市場	玉木 勝司	// 牧	田村 幸治	// 杣	堀江 常雄
// 今郷	山田 和男	// 高野	高田 栄一	// 勅旨	大西太勇巳	// 小野	植田 慶一
// 巖峨	中嶋 安雄	// 油日	辻 清	// 勅旨	望月 甚一	// 鳥居平	奥村 俊治
// 和野	奥村 稔	// 油日	山下 春美	// 勅旨	大西 進	// 中之郷	鍵 休一
土山町大河原	越山 末男	// 上野	松岡 峯夫	// 勅旨	大西 廣幸	// 佐久良	吉本 昌敏
// 大河原	村上 元庸	// 田堵野	増井 長司	// 長野	辻 昭司	// 野出	西川 和雄
// 鮎河	水上 重彦	// 滝	片矢 登	// 長野	谷井 秀年	// 西大路	東 正幸
// 鮎河	久保 重衛	// 滝	増田 信治	// 畑	増田 勝彦	// 音羽	山田 順三
// 鮎河	福嶋 孝基	// 毛枚	藤原 耕生	// 田代	大平 啓治	// 西明寺	塚本 信雄
// 鮎河	小倉 勝次	// 和田	澤井 啓二	// 神山	高橋 一幸	// 蔵王	山本 博司
// 鮎河	前田 初樹	// 高嶺	清水 勉	// 神山	高橋 恒夫	// 北畑	田代 悟
// 鮎河	大家 清隆	// 五反田	豊田 康盛	// 神山	服部 良平	// 平子	太田 正男
// 黒滝	安村 文紀	// 小佐治	河合 春信	// 江田	松本 公一	// 村井	新谷 信夫
// 黒川	森 恒治	// 小佐治	河合 仁司	// 西	岡本 正	// 鎌掛	岡 幹雄
// 黒川	馬場 満	// 神保	森地 直人	// 柞原	杉田 淳	// 鎌掛	竹村 和司
// 黒川	村木 和好	// 神保	福井 英雄	// 柞原	中島 英次	// 鎌掛	篠村 忠司
// 黒川	中本 武次	// 隠岐	山口 信男	// 柞原	上田 金幸	// 下駒月	井上 重藏
// 猪鼻	中森 豊和	// 隠岐	隠岐 定信	// 中野	寺田 健児	// 深山口	曾羽 哲實
// 山中	服部 金次	// 岩室	杉本 芳久	// 中野	中森 敏樹	// 下迫	高木 基
// 山中	太田 昭生	// 岩室	中野 長夫	// 杉山	村井 正典	// 内池東	望月 常司
// 笹路	澤田 武文	// 岩室	野口 康弘	// 小川	杉本 正典	// 猫田	北西孝次郎
// 山女原	丸田 順登	甲南町葛木	吉澤 俊幸	// 小川	杉本 隆	// 山本	岩崎 喜平
// 南土山	田島 和男	// 稗谷	宮本 邦雄	// 小川	村木 敏彦	// 中山	山上 昇

林業推進員に188名の方々を委嘱させていただきました。

森林組合と組合員さんとのパイプ役として、大字単位とした「林業推進員」を委嘱させていただきました。
任期は、平成29年5月1日～平成32年4月30日までの3年間でよろしくお願いいたします。

石部町石部1	青木儀一郎	土山鮎河4	上野喜久治	甲賀和田	澤井 啓二	信楽小川出	田中 時夫
石部町石部2	服部 邦彦	土山鮎河5	水落 浩和	甲賀高嶺	清水 勉	信楽西	岡本 正
石部町石部3	鵜飼 邦夫	土山鮎河6	笹尾 宇平	甲賀五反田	阪口 正治	信楽上朝宮	洞 重則
石部町東寺	北村 則彦	土山黒滝	安村 文紀	甲賀小佐治	河合 仁司	信楽上朝宮	曾和 治彦
石部町西寺	山本 弘一	土山上の平	岡田 吉次	甲賀神保	藤橋 久夫	信楽下朝宮	村井 克年
甲西三雲	矢野 進次	土山黒川市場	林 真澄	甲賀隠岐	小川 剛史	信楽宮尻	片木 善貴
甲西三雲	野村 和芳	土山黒川	中江 信幸	甲賀岩室	田村 善一	信楽多羅尾1	松倉 以吉
甲西針	八田 利明	土山中の組	松岡 進	甲南寺庄	藤井 忠夫	信楽多羅尾2	勝矢 忠好
甲西平松	亀田 義久	土山猪鼻	馬場 秀樹	甲南葛木	吉川 貞之	信楽多羅尾3	田中 孝志
甲西柑子袋	立入 新一	土山山中	林口 富雄	甲南深川	田中 道廣	日野地区	満島 順猷
甲西菩提寺	谷口 健次	土山笹路	福井 勝	甲南深川市場	渡辺 智	日野地区	清水 昇二
甲西正福寺	園 修	土山山女原	北林 俊也	甲南稗谷	宮本 幹蔵	日野地区	竹村 繁
甲西岩根	谷口 忠一	土山蟹坂	田島 敏治	甲南森尻	渡辺 秀郎	日野東桜谷	吉本 昌敏
甲西岩根	野口 喜晃	土山土山1	早川 和男	甲南池田	山本 恒夫	日野東桜谷	堀江 常雄
水口虫生野	小森 伸一	土山土山2	綾戸 勝	甲南上磯尾	林 三郎	日野東桜谷	武田 育造
水口貴生川	神山伊智郎	土山土山3	谷 岩治郎	甲南下磯尾	神田 英夫	日野東桜谷	巖島彦五郎
水口北内貴	倉田 博徳	土山畑	立岡 英彦	甲南竜法師	小邨 勤武	日野東桜谷	中西 浩司
水口宇川	岡村萬一郎	土山土山5	松山 嘉雄	甲南野尻	藤川 清文	日野東桜谷	植田 慶一
水口岩坂	奥野 英之	土山土山6	吉村 忠博	甲南野田	森田 信夫	日野東桜谷	鍵 休一
水口高山	橋本 庄市	土山平子	前田 良人	甲南杉谷里出	神山 清和	日野東桜谷	奥村 俊治
水口三大寺	福本 三朗	土山東瀬音	福井 厚司	甲南杉谷川北	神山 忠義	日野西大路	塚本 信雄
水口三大寺	谷村 和雄	土山西瀬音	福井 治男	甲南杉谷南出	望月 政嗣	日野西大路	田代 悟
水口三大寺	岡崎 晃	土山青土	田畑 喜則	甲南杉谷市瀬	神山 金司	日野西大路	太田 正男
水口三本柳	田代 勝己	土山野上野	吉倉 康規	甲南杉谷新田	村井 榮一	日野西大路	森口與総次
水口牛飼	鵜飼 博	土山大沢	藤本 耕三	甲南新治	福井 孝	日野西大路	山田 順三
水口牛飼	樋口 啓一	土山頓宮	田中 傳久	甲南塩野	山中 靖士	日野西大路	東 正幸
水口杣中	木村 幸弘	土山前野	前野 幸雄	甲南市原	飯田 末男	日野日野地区	新谷 信夫
水口山上	北村 勝美	土山市場	松下 良正	甲南柑子	中川 講一	日野鎌掛	岡 幹雄
水口八田	石部 政美	土山徳原	中村 伸次	甲南上野川	増田 晋一	日野鎌掛	竹村 和司
水口春日	丸山 一樹	土山大野	市井 広樹	甲南下野川	北田 政博	日野鎌掛	篠村 忠司
水口下山	菊田 英治	土山大野3	中邨 達弘	甲南上馬杉	鳥居 康一	日野南比都佐	井上 重蔵
水口伴中山	吉田恒太郎	土山大野4	徳田 篤史	甲南下馬杉	西本 恵一	日野南比都佐	曾羽 哲實
水口山	池本 清和	甲賀櫟野	大原 久和	信楽宮町	加藤 銀次	日野南比都佐	高木 基
水口泉	森口 史郎	甲賀神1	桑田 誠	信楽宮町	城多 和夫	日野必佐	望月 常司
水口植	西川 満	甲賀神2	井原 玉蔵	信楽黄瀬	安田 英樹	日野必佐	北西孝次郎
水口宇田	山田喜一郎	甲賀神3	中島 務	信楽黄瀬	雲林院弘吉	日野必佐	岩崎 喜平
水口北脇	川嶋 新悟	甲賀大原上田	堀口 弘志	信楽牧	田村 幸治	日野必佐	山上 昇
水口名坂	池本 仁孝	甲賀大原上田	林口 義久	信楽牧	横山 正人	日野西桜谷	西川 和雄
水口松尾	谷 龍平	甲賀大久保	西田 武史	信楽勅旨	大西 廣幸		
水口中畑	岡田 勝雄	甲賀大原中	井村 正継	信楽長野	今井 茂雄		
水口新城	岩本 新次	甲賀鳥居野	中村 政一	信楽江田	瀬野 廣行		
水口今郷2	長 俊吉	甲賀相模	玉木 友一	信楽神山	稲森 廣文		
水口今郷	山田 和男	甲賀大原市場	中島 喜孝	信楽神山	服部 忠弘		
水口嶺峨	嶋田 豊実	甲賀高野	高田 栄一	信楽畑	増田 勝彦		
水口嶺峨	藤井 昭広	甲賀油日	杉本 勇	信楽田代	大平 啓治		
水口和野	藤井 孝雄	甲賀上野	山下 英豊	信楽柞原	杉田 淳		
土山大河原	山下 康秀	甲賀田堵野	増井 長司	信楽中野	中井 武二		
土山鮎河1	水上 岩雄	甲賀滝	片矢 登	信楽杉山	植西 一彦		
土山鮎河2	前田 明博	甲賀滝2	増田 信治	信楽小川	宮川 憲和		
土山鮎河3	曾我 俊治	甲賀毛牧	望月 光男	信楽小川	大西 啓友		



長い間ありがとうございました。

第4回通常総代会終了をもって、3名の執行役員の方々が退任されました。

滋賀中央森林組合の設立から設立後の今日まで執行役員としてご尽力いただきました。長い間ありがとうございました。



左から岩永峯一氏、松山正己氏、辻 正喜氏

《退任までの略歴》

松山正己 前組合長

平成11年 7月滋賀県森林組合連合会理事
平成16年 2月滋賀県森林組合連合会副会長
平成16年 8月滋賀県森林組合連合会会長
昭和62年 7月甲賀郡森林組合理事
平成11年 7月甲賀郡森林組合組合長
平成25年12月滋賀中央森林組合組合長
平成29年 8月滋賀中央森林組合組合長 退任

岩永峯一 前副組合長

平成10年 5月信楽町森林組合理事
平成18年 5月甲賀市信楽森林組合組合長
平成25年12月滋賀中央森林組合副組合長
平成29年 8月滋賀中央森林組合副組合長 退任

辻 正喜 前専務

平成22年 7月甲賀森林組合専務理事
平成25年12月滋賀中央森林組合専務理事
平成29年 8月滋賀中央森林組合専務理事 退任

組合員の声

森林経営委託契約（長期契約）を締結され搬出間伐施業を実施された団地代表者の方に感想をお聞きました。

甲賀町櫟野

奥村 和宏

団地内概要

団 地 名	仏生寺
実 施 面 積	8.17 ha
団 地 内 所 有 者	6人
搬 出 材 積	384 m ³
団 地 内 作 業 路	1,410m

団地内収支

収入	間伐材売上金	2,018千円
	補 助 金	7,756千円
支出	事 業 費	8,791千円
	所有者への還元金	983千円



○間伐搬出を森林組合に依頼されたきっかけはどのようなことでしたか。

当事業地は境界が不明瞭であったため、森林組合の取り組みんでいる放置林境界明確化実施事業にて境界を確定して頂きました。その後、森林組合から施業の提案を頂き作業を実施して頂きました。自分で作業をするにも高齢で危険も伴うため委託しました。

○作設した搬出作業道をどう思われましたか。

今後、山に入りやすく管理道として利用したい。また、今作設する事により最終伐採するときに作業道があるため有利に販売できると思う。しかし年が経つと多少のい

たみはあるが、やむを得ないと思う。

○間伐材を搬出してもらった収支はどうでしたか。

集約することでコストダウンが図られ、高収益が得られた。

○森林組合に対するご意見をお聞かせ下さい。

世代交代等により山に対する関心も薄れているのも現状です。行政機関も交え山主によりよい情報提供をお願いしたいと思います。

甲賀町内には、まだまだ間伐・搬出をしなければならない場所がかなりあるので、積極的に行ってほしい。

甲南町柑子

辻 慎一

団地内概要

団地名	杉谷重森
実施面積	13.98 ha
団地内所有者	34人
搬出材積	852 m ³
団地内作業路	3,190 m

団地内収支

収入	間伐材売上金	2,890千円
	補助金	16,162千円
支出	事業費	17,173千円
所有者への還元金		1,879千円



○間伐搬出を森林組合に依頼されたきっかけはどのようなことでしたか。

集約化団地の計画範囲に入っており、組合より提案を受けたため。

公の山林のため、手入れをするにも高齢化が進み出来ないため。

○作設した搬出作業道をどう思われましたか。

境界の確認等、山に入りやすいため、今後の管理に役立てていけると思う。

○間伐材を搬出してもらった収支はどうでしたか。

道から遠く自分たちでは搬出が困難な場所であった。また、木が細く材の価値がなかったにも関わらず、集約化する事により作業コストが減り木材代金が還元されてよかった。

○森林組合に対するご意見をお聞かせ下さい。

手入れ不足の山や境界が不明確のところが多く森林組合よりいろいろな情報の提供をお願いし山を良くしたい。

水口町高山

福澤 昭吉

団地内概要

団地名	高山平石山
実施面積	13.25 ha
団地内所有者	17人
搬出材積	432 m ³
団地内作業路	1,830 m

団地内収支

収入	間伐材売上金	2,496千円
	補助金	10,090千円
支出	事業費	11,604千円
所有者への還元金		982千円



○間伐搬出を森林組合に依頼されたきっかけはどのようなことでしたか。

地域で今後の里山整備について考える機会があり、境界の確認の意味合いも含めて森林組合に依頼した。

※備考 地元（米田治一氏）の取りまとめによる。

○作設した搬出作業道をどう思われましたか。

山に行く機会が多いので、山に入りやすくなった事は良いが、今後の維持管理の面で不安がのこる（個人では維持管理が困難）。できれば、軽トラックで周回でき、また、旋回できる場所が欲しい。

収支も大切だが、今後、山林への意識が高まれば、大径木が搬出できるような恒久的な道（大型重機、車両が入るような幅員3m以上の道）が作設できるのなら、多少の負担があっても良いという山主も増えるのではないかな。

今後、成長した木材（大径木）を搬出するには、現況の道では狭いのではないかな？作業道はあるが、大径木が搬出できないのでは、宝の持ち腐れになってしまう。

○間伐材を搬出してもらった収支はどうでしたか。

当初より収入は期待していなかったが、負担なしで森林整備を行えた事で、山への意識が高まる良い機会になった。

「間伐材（劣勢木）」の搬出ということは理解しているが、良い木（特に太い木）をもう少し多めに搬出し、より収入を向上できないのか。人によっては、今後の市場動向に不安がある場合、次があるかどうか不明であるし、その時々により良い収支を提供、提案する事も必要ではないかな？

合板材の需要の高まりなどのニュースを聞くと、木材を「質」よりも「量」で取引する時代がきている気がする。太い木を搬出する事は、山林の世代交代にもつながるのではないかな。（小径木はいずれ成長する）

○森林組合に対するご意見をお聞かせ下さい。

個人で山林を管理することが困難になっているので、共同経営が必要になってくると感じている。次世代に繋げていく為にも、地域の取りまとめ協力及び、山林の未来像を描いて欲しい。

特に当地域のような里山的な位置にある山林については、環境的な意味もあるので、杉桧だけではなく、他樹種の育成も必要ではないかな。収支の面も含めて短期的な視野と長期的な視野をもって森林整備をおこなって欲しい。また、里山が整備されることは、外部からの視覚面からみても、地域の印象も変わってくるため、地域の町づくり、環境づくりの一環、（またその一面性がある）として捉え、行政も一体となって取り組んで欲しい。

組合員の声

今後、森林経営委託契約（長期契約）を締結し、搬出間伐施業を実施予定の団地代表者の方にお話をお聞きしました。

土山町頓宮

奥村 啓次

○今後山の手入れについて、どのようにお考えですか。

手入れする必要性は感じるが、材価の低迷もあり、森林整備に投資することに対し躊躇している。保育の必要のない山に対しては、現状維持している。

○山林の手入れについての補助制度はご存じですか。
森林組合広報誌等を通じてある程度知っている。

○搬出作業道をつくることに対してどのようにお考えですか。

今後、山の材の伐採や搬出作業、伐採後の植栽、保育を効率的にするためには必要だと思う。

○所有山林を今後どのようにして、次世代に引継ぎをお考えですか。

次の世代が山に対して、財産という認識がないので引き継ぐことにこだわることなく、売買も視野に入れている。

○森林組合に対するご意見をお聞かせ下さい。

いろいろな補助事業の内容や条件を区や組等にくわしく説明してほしい。公の山から管理していきたい。境界保全に力を貸してほしい。



日野町奥之池

鈴木 孝雄

○今後山の手入れについて、どのようにお考えですか。

現在の木材市況の状況、境界不明の山林が多い中での手入れは考えにくい。

○山林の手入れについての補助制度はご存じですか。
2年前から「森林の境界明確化事業及び森林整備事業」に取り組んでいる。

県・町の補助金と木材の売上金で地主負担なく事業ができると担当者から聞いている。当地域では団地形成内の個々で対応せず、木材売上金は団地全体のプール計算としています。

○搬出作業道をつくることに対してどのようにお考えですか。

木材の伐採、搬出に必要な大型機械の搬入を行うため

必要である。

今後の管理道路としても必要であり、次世代に引き継ぐためにも必要である。

○所有山林を今後どのようにして、次世代に引継ぎをお考えですか。

境界の不明確、一部放置林もあり今取り組んでいる事業で「境界の明確化と森林整備」をしたうえで次世代に引き継ぐ。

○森林組合に対するご意見をお聞かせ下さい。

「森林の境界明確化事業及び森林整備事業」が当初の目的通り完了するようにご協力ご指導をお願いしたい。



信楽町小川

杉本 照男

○今後山の手入れについて、どのようにお考えですか。

中々個人では手がかけられないのが現状ですが、少しずつ間伐や枝払いの補助金制度の再活用にて、美しくきれいな山づくりをめざしたい。

○山林の手入れについての補助制度はご存じですか。
集約規模による間伐補助制度が有効と聞いているが、従来の個人山林への間伐補助制度の充実を行ってほしい。

○搬出作業道をつくることに対してどのようにお考えですか。

木材の搬出のためにも又、山林の管理においても作業

路は必要であり、境界をうまく利用した利便性の作業路の設置を希望します。

○所有山林を今後どのようにして、次世代に引継ぎをお考えですか。

山林の景色（美観・風景）が必要と考えます。

成育した山林状態でなく、見せる（景色）事の山林で引き渡す事が出来ればと思います。

○森林組合に対するご意見をお聞かせ下さい。

まず境界の確認作業を行い、間伐等により山林の価値を上げる山林管理のアドバイスをお願いしたい。それと依頼作業が安価である事が前進のすべてと思います。



補助造林事業について



計画的でまとまった施業（集約化された区域）で行う間伐に対しての補助事業

①森林経営計画の区域であり、②間伐面積が5ha以上で、③間伐材を10m³/ha以上搬出する施業に対しての補助事業です。

★新植・下刈・除伐（保育間伐）・枝打は、従来とおり0.1haから補助対象です。

ただし、個人施業をされる場合は、作業前、作業中の写真が必要となります。

間伐材を搬出して間伐施業負担金ゼロに、山によっては還元できます！！

受託造林事業試算例					0.1ha(1反)当たり(円) ※搬出+間伐:1ha当たり(円)			
補助事業名	森林環境保全直接支援事業							
作業種	造林	下刈	枝打	保育間伐	間伐+搬出+作業道			
補助対象要件	0.1ha(1反)以上				集約面積 5.0ha以上+搬出材積 10m ³ 以上+間伐率30%以上+作業道(W=2.5m)			
補助対象林 齢	地拵え、 植栽	10年生 以下	30年生 以下 (間伐と 同時実施)	①35年生 以下 ②伐採木 平均径 18cm以下	スギ・ヒノキ		スギ・ヒノキ	
					末口径(曲がり) φ12cm ～φ16cm		末口径φ 18cm ～26cm	
事業費 (標準)	285,000	18,000	60,000	27,000	30m ³ ～ 39m ³ 搬出	860,000	50m ³ ～ 59m ³ 搬出	1,120,000
補助金 (概算)	200,000	15,000	53,000	23,000	搬出補助金	740,000	搬出補助金	890,000
					間伐材予定売上	120,000	間伐材予定売上	330,000
山主負担金	85,000	3,000	7,000	4,000	お支払額	0	お支払額	100,000
備 考	森林施業プラン提案(見積書)を提示します。							

★補助事業完了翌年度から5年以内に森林以外の用途に転用する場合は補助金返還をしなければなりません。

集約化施業による搬出間伐地その後①



集約化施行による搬出間伐地その後②



森林施業プラン提案書

[illegible]

集約化の手順

- ①集約化区域の計画
- ②対象区域の森林所有者の確認
- ③事業説明会の開催
- ④境界確認(関係者の現地立会)
- ⑤測量・調査・作業内容の検討

放置林防止対策境界明確化事業
(3年をかけて)



- ⑥森林施業プラン書の提示
森林経営委託契約の締結
森林経営計画の作成
- ⑦施業実施
作業道開設・間伐搬出作業
- ⑧補助金交付申請、精算、事業完了

提案型集約化施業

平成28年度 施業集約化の実施状況

地区(団地)	人数 (人)	区域面積 (ha)	搬出材積 (m)
大 納 言 ②	1	11.16	814.00
高 山 平 石 山	17	13.25	432.00
山 中 健 上 谷	5	22.04	881.70
青 土 石 神 ②	2	10.81	498.10
祝 詞 ケ 原 ②	1	5.04	183.00
仏 生 寺	6	8.17	387.00
深 山 口	5	8.27	163.00
深 山 口 ②	2	5.64	229.00
櫟 野 呂 ノ 谷	1	6.17	251.00
H 2 8 新 治	10	5.31	491.35
田 代	1	6.00	300.00
上 朝 宮 平 尾	2	14	800.00
宮 尻 石 堂	5	16.7	1,566.20
多 羅 尾 流 谷	2	6.00	244.10
多 羅 尾 小 山	8	26.58	1,585.57
多羅尾干茗ヶ谷	3	5.33	160.00
鎌 掛 一 ノ 谷	1	7.01	286.10
H 2 8 三 峯	1	6.01	70.33
計	73	183.49	9,342.45



3トン車1台で
約4m³です。



○放置林防止対策境界明確化事業

放置林防止対策境界明確化事業とは、3年間かけて、各地域の森林所有者を割り出しと境界の不明瞭な山林の境界を明確にするための調査や測量を行う事業です。この事業は100%補助金で行いますので負担金はございません。

第4回 理事会(平成29年1月10日)

1. 平成28年度上期における理事の自己契約について
 2. 常例検査意見に対する理事の意見及び今後の方針について
 3. (国)森林総合研究所との分収造林契約について
 4. 役員定年に関する規程について
 5. 役員、総代、林業推進員の改選について
- (報告事項) 1 平成28年度森林組合中間決算について
- 2 平成28年度木材流通センター中間決算について
 - 3 平成28年度上期組合員加入脱退について

2. 役員改選に伴う役員定数割について
3. (専決)固定資産(業務車)の購入及び廃棄について
- (報告事項) 1 滋賀県森林組合連合会への森林組合の参画について
- 2 2月末森林組合及び木材流通センター事業進捗状況について

第6回 理事会(平成29年5月25日)

1. 役員改選に伴う理事の理事会推薦について
 2. 平成28年度決算見込について
 3. 平成29年度森林整備等指名登録業者の選定について
 4. 職員夏期賞与等の支給について
- (報告事項) 1 総代選挙の結果について
- 2 林業推進員の委嘱について
 - 3 平成29年度人事異動について

第5回 理事会(平成29年4月5日)

- ## 1. 総代選挙の日程について

出資組合決算書

昨年の9月1日、滋賀県森林組合連合会より4森林組合（滋賀中央森林組合、滋賀北部森林組合、びわこ東部森林組合、東近江市永源寺森林組合）で構成する「滋賀県木材流通センター有限責任事業組合（LLP）」に運営が移行されたことによる間伐材の集約販売量は26,207m³（対計画比125%）で計画協定量を達成することができました。さらに、LLP運営による利益分配金は、9,222千円（対計画比421%）となり当森林組合が木材流通センターの土地持分並びにLLPへの出資比率が50%であることから、その利益分配金の50%4,611千円を森林組合全体にもたすことができました。LLPの決算内容は以下のとおりです。

滋賀県木材流通センター有限責任事業組合（LLP）

○貸借対照表（平成29年5月31日現在）

単位：千円

資産の部		負債の部	
(流動資産)		(流動負債)	
預 金	14,941	事業未払金	6,306
前払費用	43	一般未払金	10,985
事業未収金	16,330	流動負債計	17,291
一般立替金	18	(固定負債)	
貸倒引当金	△ 41	固定負債	0
		固定負債計	0
流動資産計	31,291		
(固定資産)		負債合計	17,291
固定資産	0	純資産の部	
固定資産計	0	資本金	14,000
		純資産合計	14,000
資産合計	31,291	負債純資産合計	31,291

○損益計算書（平成28年6月1日～平成29年5月31日）

単位：千円

科 目	金 額	計	備 考
I 事業総損益			
収 益	34,922		
費 用	9,607		
事業総利益		25,315	
II 事業損益			
事業管理費		16,186	
事業利益		9,129	
III 経常損益			
事業外利益	93		
事業外費用	9,222		出資組合への利益分配額
経常利益		0	
税引前利益	0	0	
当期純利益	0	0	

○出資組合への利益分配額

単位：千円

出資森林組合	金 額	備 考
滋賀中央森林組合	4,611	出資割合50%
滋賀北部森林組合	3,597	出資割合39%
びわこ東部森林組合	645	出資割合 7%
東近江市永源寺森林組合	369	出資割合 4%
計	9,222	

○取扱量（出荷量）

単位：m³

区 分	出荷量	備 考
合板用材（B材）	16,680	出荷先13社
チップ材（C材）	16,249	出荷先 4社
計	32,928	

平成28年度 理事会だより

第1回 理事会（平成28年8月10日）

- 平成27年度事業報告書、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案並びに注記表及び附属明細書の承認について
- 木材流通センターの土地取得並びに有限責任事業組合（木材流通センター運営）への出資について
- 平成28年度事業計画書の設定について
- 第3回通常総代会の開催日程について
- 第3回通常総代会の提出議案について
（報告事項）1 平成27年度組合員加入脱退について

第2回 理事会（平成28年8月27日）

- 滋賀県木材流通センター有限責任事業組合に係る職務執行者の選任について



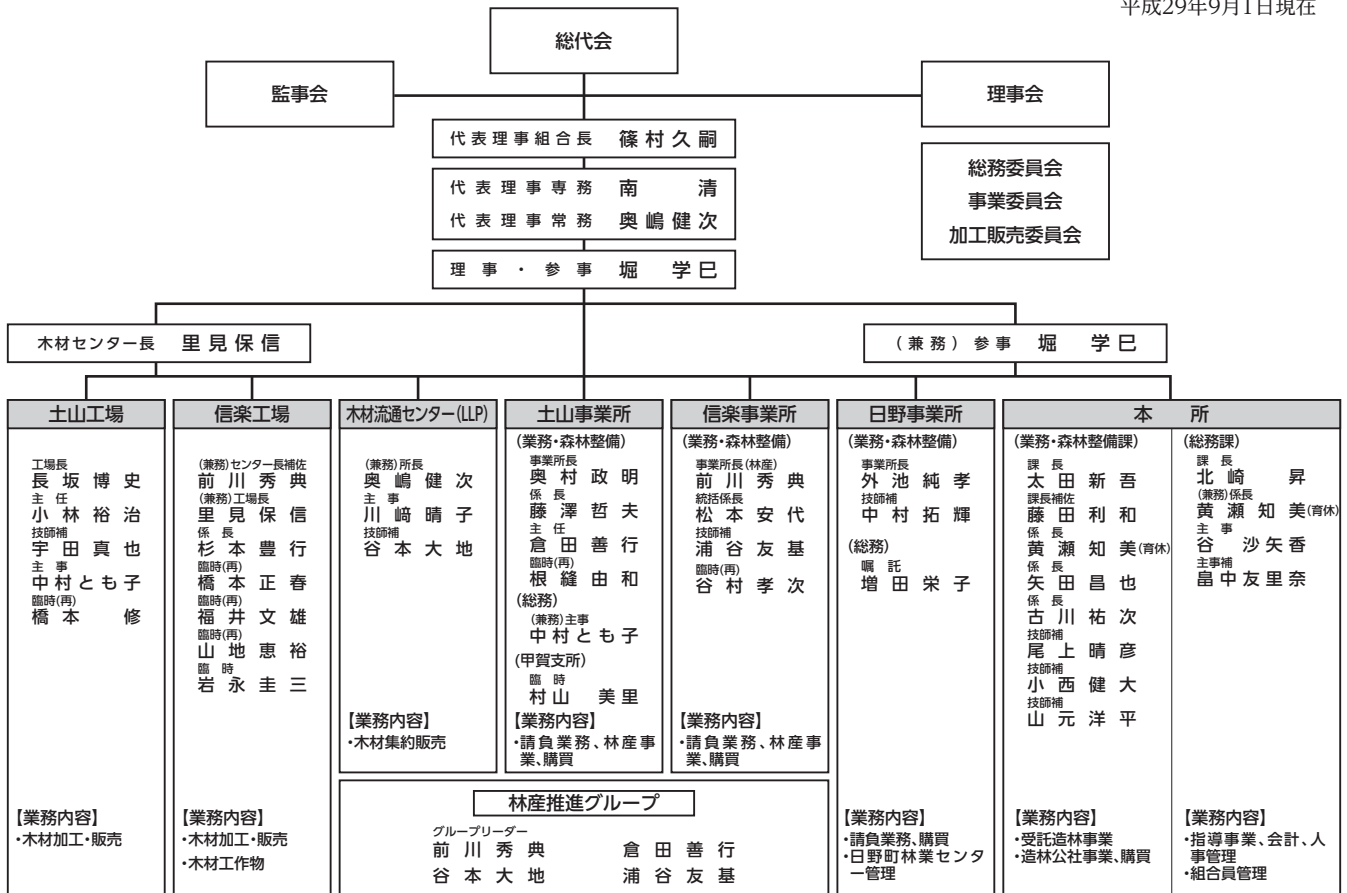
▲ 改選後初理事会

第3回 理事会（平成28年11月2日）

- 職員採用計画について
- 平成28年度理事報酬の決定について
- 職員年末賞与の支給について
- 役員定年制の導入について
（報告事項）1 木材流通センター第1四半期決算報告について
2 平成27年度県内森林組合の決算状況について
3 平成28年度県の常例検査結果について
4 9月末事業進捗状況について

滋賀中央森林組合組織図

平成29年9月1日現在



新人紹介

本所 業務・森林整備課

やまもと ようへい
山元 洋平

平成29年6月1日に入組し、本所に勤務させて頂いております。元々自然のものや川上の産業に興味がありました。

また事業を通して地域の人や環境保全に貢献できる林業に携わることは大変価値があり、光栄なことと感じております。

現在は諸先輩方にお世話になりながら、日々業務に取り組んでおります。1日でも早く地域の方々・組合に貢献できるよう精進して参りますので、今後ともよろしくお願いいたします。

H29.6.1採用



名義変更等の手続きをお願いします

合併から4年目をむかえますが、相続等されたにもかかわらず、名義変更の手続きをされていない組合員の方が多数おられます。今一度ご確認いただき、手続きをお願いします。

- 組合員名義変更届……………贈与、相続された場合
○組合員住所変更届……………住所を変更された場合

組合へ連絡いただければ様子を郵送させていただきます。
組合ホームページからもダウンロードできます。

組合員名義変更届																							
届出〒市町村会館組合員 様		平成 年 月 日																					
(申込者) 氏 名	〒 _____																						
住 所	〒 _____																						
氏 名	〒 _____																						
電話番号 () _____																							
私は、組合員 _____ の出資金を _____ 円、 平成 年 月 日 (開行・相対) したもので承認見聞したため株主総会決議 による出資の増減より取り除きます。 平成 年 月 日現在よりお返しします。 なお、紛失された方は下記「出資証明書再発行」への記入 をお願いいたします。																							
【新加入者部】																							
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">組 合 員 名</th> <th style="width: 30%;">口</th> <th style="width: 20%;">出 資 金 額</th> <th style="width: 20%;">円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出 資 口 数</td> <td></td> <td>普通・当座</td> <td>組、引当、引当</td> </tr> <tr> <td>株 主 金 等</td> <td></td> <td>口座番号</td> <td></td> </tr> <tr> <td>取 込 先</td> <td></td> <td>イ コナフ</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>系 属</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				組 合 員 名	口	出 資 金 額	円	出 資 口 数		普通・当座	組、引当、引当	株 主 金 等		口座番号		取 込 先		イ コナフ				系 属	
組 合 員 名	口	出 資 金 額	円																				
出 資 口 数		普通・当座	組、引当、引当																				
株 主 金 等		口座番号																					
取 込 先		イ コナフ																					
		系 属																					
出資証明書再発行願																							
今般、私は、貴組合の出資証明書を紛失いたしましたので、再発行するよう申請します。 <u>【出資証明書再発行】</u>																							
出資口数	口	出資金額	円																				
発行日	年	月	日																				
出資口数	口	出資金額	円																				
発行日	年	月	日																				



木材センター



土山工場



(株)三東工業社信楽本店(外観)

土山工場では「(株)三東工業社信楽本店新築工事」で使用されたCLTラミナ木材を供給しました。使用した原木量は500㎥で内52%にあたる260㎥は甲賀市産を利用、残りの48%は滋賀県産を利用しております。このCLTラミナ用木材は持続可能な循環型資源であり、森林資源を有効活用した省CO²型の建物を建てられる事で注目されており今後の林業にも期待が持てます。



(株)三東工業社信楽本店(内装)

CLTとは、Cross Laminated Timber (クロス・ラミネーティッド・テンパー)の略で板の層を各層で互いに直交するように積層接着した厚型パネルのことを呼びます。強度が高く、断熱性に優れ、従来は考えられなかった多層階の木造建築が可能になる建築資材です。

信楽工場

信楽工場では、木材のもつ適度な弾力、柔らかな感触、親しみやすい存在感、テクスチャー（※）を生かし、東屋、ベンチ、エクステリア、看板、家具などの製作施工と杭丸太などの土木資材、造園支柱材を中心に加工、販売しています。（※）材料の表面の視覚的な色や明るさの均質さなどの特徴、材質感覚、効果。



中主町 野々宮橋改修工事 工作物:跳ね橋施工



奈良 新沢千塚古墳群 工作物:四阿施工



京都 二条城 工作物:木柵施工



滋賀県 秘書課 製品:椅子・テーブル

草刈り、支障木伐採はいかがですか。

当組合では、山の手入れ以外にも荒れ田や宅地の草刈り、住宅に隣接している支障木の伐採なども行っています。

主な作業料金は次のとおりです				
作業区	作業の内容	料金単位	料 金	備 考
草 刈	草刈のみ	m ² あたり	20円より	草丈により異なる
	草刈+搬出処分	m ² あたり	30円より	
伐 採	伐採のみ	本あたり	2,000円より	伐採条件により異なる
	伐採+搬出処分	本あたり	10,000円より	
剪 定	枝払等の剪定	本あたり	5,000円より	H=5.0m以上
	庭木剪定+処分	1式	20,000円より	



施工前(支障木)



施工後(支障木)



施工前(竹林)



施工後(竹林)



本 所	〒528-0014	滋賀県甲賀市水口町鹿深 3-39	TEL 0748(65)4180 FAX 0748(65)4181
土山事業所・工場	〒528-0211	滋賀県甲賀市土山町北土山361	E-mail shiga-shin@shiga-forest.jp
信楽事業所・工場	〒529-1832	滋賀県甲賀市信楽町小川出1-1	TEL 0748(66)0015 FAX 0748(66)0395
日 野 事 業 所	〒529-1602	滋賀県蒲生郡日野町河原1-1	TEL 0748(82)0758 FAX 0748(82)3066
甲 賀 支 所	〒520-3431	滋賀県甲賀市甲賀町大原中541	TEL 0748(52)4334 FAX 0748(52)4449
木材流通センター	〒527-0064	滋賀県東近江市尻無町1168-5	TEL・FAX 0748(88)2127
			TEL 0748(20)1622 FAX 0748(20)1633



JForestとは
Japan Forest owners' cooperative associations
の頭二文字からとった森林組合系統の統一愛称です。